

## 第29回土質工学研究発表会報告

(株) 熊谷組技術本部

井原 俊一

### はじめに

第29回土質工学研究発表会は、平成6年6月24日(金)～26日(日)にわたり、盛岡市の岩手県民会館を中心に開催された。

ジオテキスタイルおよびその関連製品に関する研究発表は、主に「補強盛土、軽量盛土」のセッションを中心としていろいろなセッションで行われた。ここでは、ジオテキスタイルおよびその関連製品に関する研究発表を大まかに分類し、その内容について簡単に紹介する。

### 発表内容

ジオテキスタイルとその関連製品に関する研究発表は、24件(筆者の判断)であった。発表内容をジオテキスタイルの種類、研究対象および研究手法で大まかに分類すると、以下のようである。

### 発表内容の分類

		論文番号																										
		3	1	5	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9				
		1	4	2	3	4	5	6	7	8	9	2	3	4	5	6	7	8	9	0	0	8	9	1	2	6	7	
ジオテキスタイルの種類	不織布																											
	織布																											
	ジオグリッド		○	○	○	○	○	○	○																	○	○	
	短繊維	○																										
	ジオメンブレン																											
	全般																											
	その他																											
研究対象	材料特性																											
	盛土・擁壁	○	○																									
	支持力			○		○																						
	その他																											
研究手法	材料試験																											
	模型実験																											
	設計・解析																											
	施工・現場計測	○	○																									

(1) ジオテキスタイルの種類で分類すると、ジオグリッドに関する発表が12件ともっとも多く、全体の半数を占めており、次いで不織布に関する発表が5件、織布とジオテキスタイル全般に関する発表がそれぞれ3件であった。

(2) 研究対象で分類すると、盛土・擁壁を対象とした発表が11件ともっとも多く、次いで支持力を対象としたものが6件、材料特性4件、その他が3件となっている。

(3) 研究手法で分類すると、設計・解析と施工・現場計測がそれぞれ11件、10件と多く、模型実験が6件、材料試験が4件となっている。